

この街が 好きだから

みんなで手を携え、支え合い、ぬくもりのある街にしていきたい。
そんな思いを胸に、地域でグループで、生き生きと活動が続ける人たちがいます。



視覚障害者の視点に立った気配りで

楽譜点訳サークル・カルテット

点字で楽譜づくりをしているのが、『楽譜点訳サークル・カルテット』（岸本いくほ代表）です。「会の目的は、楽譜点訳を通じて、視覚障害者の音楽活動を支援することです」と語るのは、谷口眞理子さん。設立当初からのメンバーで、指導者としての役割を担う一人です。

楽譜点訳といっても五線は書かず、ほかの点字と同様に六つの点の組み合わせで音を表します。その際には、楽譜の正確な内容理解はもちろん、点訳の複雑な決まり事にも精通している必要があります。

「視覚障害者は、楽譜を手で読みますので、指先の移動がなるべく少なくなるよう気



楽譜点字※



毎月2回、メンバーが集まって校正作業をします（パソコンを操作しているのが谷口さん）
※上の4点で音の高さ、下の2点で音の長さを表します

話をします。同じ内容でも、全体をいかに簡潔に表すかが、腕の見せ所です。メンバーは、それぞれの「解釈」で点訳した楽譜を持ち寄り、使いやすさと正確さを第一に考えて手直し。こうした校正作業に一番時間がかかります。

今では、「依頼を受けたものは、可能な限り何でも点訳する」をモットーに活動しているカルテット。楽譜に始まり、音楽関係の図書や雑誌に至るまで幅を広げています。「要望があつて点訳したものは、必ず読んでもらえますし、反応が返ってくるので、やりがいがあるんです」

以前、尺八の楽譜点訳を依頼された時は、五線譜でない楽譜を読むことができず、残念ながら断らざるを得なかったという谷口さん。「今後は、いろいろな分野の楽譜点訳ができるよう、勉強を重ねていきたいですね」と、新たな目標に向かって、研さんに励む毎日です。

頼まれた時は、五線譜でない楽譜を読むことができず、残念ながら断らざるを得なかったという谷口さん。「今後は、いろいろな分野の楽譜点訳ができるよう、勉強を重ねていきたいですね」と、新たな目標に向かって、研さんに励む毎日です。

わくわく

子育て通信

病気回復期の子供を預かり子育てと仕事の両立を支援



手稲溪仁会子どもデイサービスセンター保育士
あかぎ ひさえ さん
赤木 久枝 さん

は初対面ということもあって、朝は泣いている子がほとんど。普段一緒のお友達もいないので、不安が大きいのだと思います。ですから、早くこの環境に慣れ、安心して過ごしてもらえよう、ふれあいを大事にした保育を心掛けています。

子どもデイサービスセンターは、病気回復期で、集団保育を受けられない子供を、仕事の都合など、家庭で保育できない保護者に代わって、一時的に預かる施設です。手稲溪仁会子どもデイサービスセンターは、市内三方所目として、七月に開設されました。ここに来るのは、体調の良いくない子供ですし、私たちと

子どもデイサービスセンターは、病院に付設されていますので、健康管理も万全です。医師や看護師と連絡を取り合い、子供の状態をチェックしながら、服薬の介助や給食の提供などができます。子供によって症状が違うため、常に緊張を強いられ大変なんです。ですが、こうした体制は強いんです。

今後、子供の体調に合った保育で子供と保護者両方に「安心」を提供し、育児を支援していきたいです。（談）

こどもデイサービスセンター 利用案内

対象 病気回復期にある生後5カ月から就学前の児童（医師が利用を差し支えないと認めていることが必要）。

実施施設 天使こどもデイサービスセンター（東区北12東3天使病院付設）、北海道社会保険こどもデイサービスセンター（豊平区中の島1の8北海道社会保険病院付設）、手稲溪仁会こどもデイサービスセンター（手稲区前田1の12手稲溪仁会病院付設）。

利用時間 午前8時～午後6時。

費用 1日2,300円。

利用方法 事前に登録が必要です。区役所の保健福祉サービス課や児童会館などで配布しているリーフレットに添付された登録票を、実施施設に郵送か持参。登録後、利用希望日の前日までに電話予約。※詳細はリーフレットをご覧ください。

詳細 児童企画課 ☎211-2982